

## 東京レポ・レート・レファレンス先会合の議事概要

I. 日時 2008 年 1 月 28 日（月）16:00～16:50

II. 場所 日本銀行本店会議室

III. 参加者 別添のとおり

### IV. 議論の概要

#### 1. 昨年中のレート推移等

○ 事務局（日銀）より、昨年中のレート推移等（別紙の図表 1、2）について以下の点を指摘。

- ・ 昨年中の東京レポ・レートの動きをみると、市場の需給や期末要因等を反映してきめ細かく変動しているほか、報告レートのレンジもいずれの期間についてもかなりタイトとなっており、市場実勢を的確に反映していると評価できるのではないか。
- ・ 各報告日における各レファレンス先の報告レートの標準偏差をみても、期末要因を除けば、いずれの期間についても低水準となっている。

○ レファレンス先からは、以下の発言があった。

- ・ トライアル（昨年 3～4 月に実施）と比べても、東京レポ・レートおよび各レファレンス先の報告レートともによりレートが出ている。
- ・ 東京レポ・レートが公表されたことで、S/N だけでなく O/N、T/N についてもレート水準が分かりやすくなった。
- ・ 東京レポ・レートの指標性は向上してきており、T/N および S/N レートの引き合いレートにも反映されてきている。
- ・ 東京レポ・レートが公表されたこと等も契機となって地銀等でレポ市場に参入する動きも出てきていると聞いている。
- ・ 海外のディーラー等から、日本のレポ市場に関する一般的な照会を受けた場合には、東京レポ・レートを紹介することができる。
- ・ 当初想定していたほど、東京レポ・レートに関する非居住者の認知度が高まっていない。
- ・ 期末を跨ぐ翌日物取引などについては、市場実勢のレートと自らが取引を行う場合のレートに乖離が生じることがあるが、報告レートをみて取引を希望してくる海外の取引先に対して、各レファレンス先の報告レー

トはマーケット・レート（レファレンス先が、特定時点において市場実勢と考えるレート）でありトレーダブル・レートではないことを説明するのに苦慮することがある。

## 2. 次回のレファレンス先の選定

- 事務局より、レファレンス先については、概ね年に1回の頻度で選定替えを行うこととなっていることから、次回のレファレンス先の選定に関して、選定時期および選定時に利用する計数について、別紙の資料に基づき説明。意見があるレファレンス先は、後日、事務局宛てに電子メール等で意見を伝えることとなった。

以 上